

## 2011年度受託研究概要報告

# 空港大橋上のサインデザイン制作についての研究

## 研究メンバー

赤崎正一 ビジュアルデザイン学科教授  
高台泳 ビジュアルデザイン学科助教

## 委託者

神戸市みなと総局

## 研究概要

本研究は「デザイン都市・神戸」推進の一環として、神戸市が整備している神戸空港の北側にある空港大橋上に設置予定のサインデザインの制作に関するものである。

デザインプロセスは以下の通りである。

第一は、サインのビジュアルイメージの決定である。当サインは、神戸を訪れた方々への歓迎を表すと共に、神戸のイメージを象徴的に示すことを目的としていることから、神戸を象徴する「ポートタワー」と「六甲山系のスカイライン」、そして「海」をサインにおけるビジュアルエレメントにした。

第二は、サインの文言に関する検討である。当サインが神戸を訪れる国内外の人々をメインターゲットにしていることや、これから国際都市として更なる飛躍を目指す神戸の未来性を表すこと、などを踏まえて英文表記の「Welcome to Kobe」をメインにし、日本語表記の「ようこそ神戸へ」はサブにした。

第三は、サインの形式の検討である。まずサインの大きさは、現地写真とサインとの関係などを考慮し、縦1,500mm・横6,000mmにした。次に色に関しては、

淡い色よりは濃い色が耐久性の面で優れていることと、日光の影響を受けやすい屋外の道路上に設置されること、そして写真の周辺風景が海や山などであることなど、諸条件を考慮し、低～中明度・彩度の青色形にした。

以上のプロセスを経て制作したデザイン案をもって、2回のプレゼンテーションを行い、最終のデザイン案を提案した。

## 研究成果

本研究を通じて制作したデザイン案をもって平成23年10月に設置作業を行い、完成物は空港から神戸市内へと向かう方向の大橋上に取り付けられる。当該地は神戸を訪れる人々にとって、神戸の玄関口となる重要な場所であることから、当サインは神戸市のイメージ向上と景観造成に役立つと考えられる。



図1 神戸市空港大橋サインデザイン最終案